

実数 t に対し、3点 $A(3, 0)$, $B(2t+3, t)$, $C(4, 3)$ を考える。また、直線 l の方程式を $x - 2y - 3 = 0$ とする。

- (1) 点 A と点 B は直線 l 上の点であることを示せ。
 (2) 内積 $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC}$ を t を用いて表せ。また、 $\overrightarrow{AB} \perp \overrightarrow{BC}$ となる t の値 t_1 を求めよ。
 (3) $|\overrightarrow{BC}|$ の最小値を求めよ。また、その最小値となる t の値 t_2 を求めよ。

(26 室蘭工大 5)

【答】

- (1) 略
 (2) $t_1 = -5t^2 + 5t$, $t_1 = 1$
 (3) 最小値 $\sqrt{5}$, $t_2 = 1$

【解答】

$$x - 2y - 3 = 0 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

- (1) ① に $A(3, 0)$, $B(2t+3, t)$ を代入すると

$$A: 3 - 0 - 3 = 0$$

$$B: (2t+3) - 2t - 3 = 0$$

となり、① を満たすので、点 A と点 B は l 上の点である。………… (証明終わり)

- (2) $\overrightarrow{AB} = (2t, t)$, $\overrightarrow{BC} = (1 - 2t, 3 - t)$ より

$$\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC} = 2t(1 - 2t) + t(3 - t) = -5t^2 + 5t \quad \cdots \cdots \text{(答)}$$

である。

また、 $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC} = 0$ となる t の値は

$$t = 0, 1$$

である。

$t = 0$ のとき、 $\overrightarrow{AB} = \vec{0}$ であり、

$t = 1$ のとき、 $\overrightarrow{AB} = (2, 1) \neq \vec{0}$, $\overrightarrow{BC} = (-1, 2) \neq \vec{0}$ である。

$\overrightarrow{AB} \perp \overrightarrow{BC} = 0$ となるのは $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC} = 0$, $\overrightarrow{AB} \neq \vec{0}$, $\overrightarrow{BC} \neq \vec{0}$ のときであるから、求める t の値 t_1 は

$$t_1 = 1 \quad \cdots \cdots \text{(答)}$$

である。

- (3) $|\overrightarrow{BC}| = \sqrt{(1 - 2t)^2 + (3 - t)^2}$
 $= \sqrt{5t^2 - 10t + 10}$
 $= \sqrt{5(t - 1)^2 + 5}$

であり、 $|\overrightarrow{BC}|$ の

$$\text{最小値は } \sqrt{5} \quad \cdots \cdots \text{(答)}$$

であり、最小値となる t の値 t_2 は

$$t_2 = 1 \quad \cdots \cdots \text{(答)}$$

である。